

之と同時に本部員全部は八方に馳驅して職工家庭を歴訪し、切崩し運動に對する切崩しを行ふ等宛然選舉當時に於ける夜襲奇襲を髣髴せしむるものあり、中にも造船工作部第三區内の如きに於ては工、伍長等が出勤勧誘中へ通り合せたる行商隊が夫と察して「ソレ裏切者よ」と騒ぎ立てたる爲め、狼狽せる工、伍長側勧誘員は二階より飛び降りて大負傷をなせるが如き椿事すらありたり、當日の争議團幹部會にて發表せる宣言及決議左の如し。

決 議

- 一、改めて罷業宣言發表の件
- 二、缺勤届は爾後全然出さぬ事
- 三、各工作部に於て争議團に加入しながら古々の行動を妨害するものには事實調査の上除名處分に附す事
- 四、工、伍長の戸別訪問切崩しに對しては最高幹部對應の策を施す事

宣 言

吾等は去る七月七日會社に對し八ヶ條の要求を提出した。會社重役は社長不在を口實に情けなくも拒絶したのみならず工場秩序保全に名を借りて工場を閉鎖し何等策の施すこと知らず。茲に於てか吾等は何日までも社會の不安を見るに忍びず又切實に産業を愛する吾等は一日も早く解決せしめんがため二十三日二度び會社重役と會見したるも飽くまで無能なる彼等重役は依然として社長不在を名とし事件解決の方法を暗示せず吾等は茲に取る術も無く涙を吞んで吾等の人格を認めざる會社重役の命を受くることを排し斷然一萬七千の職工は同盟罷業をなすべきことを會社重役に通告せり。然るに會社の大であり吾等の爲めには獅子身中の蟲た

る或る種の奴共は最高幹部の名を騙り吾等の主張を裏切る可き種々の流言をなせり。仍て茲に立場を明かにする爲め罷工を決議したることを重ねて宣言す。

尙右幹部會に於ては持久戰に對する方略として行商隊の件も討議せられしが、從來の組織を更に擴張し生活の窮迫せる職工に對しては何人と雖も行商隊に参加せしめ、市内は勿論遠く郡部方面は固より大阪、明石方面にまで行商せしむる事とし、更に働かむと欲するものには争議關係の會社工場以外に於て口を索めて働かしめ、飽迄争議本來の目的に向ひて邁進する方針を固持する事となれり。

五、川崎造船所の作業開始

會社が必死に試みし始業通知、戸別訪問、其他印刷物配布等に依る切崩し策に對し川崎争議團本部にても之に對抗して罷業宣言書の配布、戸別訪問等を行ひて逆襲し、廿四日夜中火花を散らす白兵戦は行はれしが、争議團にては豫め裏切者の入場に對する警備として二十五日には早朝より約一千の行商隊を工場通路の兩側に羅列せしめ、幹部又要所々々に見張りて裏切者監視の計畫を樹て、會社側又之に對抗すべく小高根秘書を相生橋署に急派し遠藤署長と數時間に亘りて打合せを爲す等形勢甚だ險惡に見へたり。

二十五日となるや平日午前六時四十分の開門を四十分繰上げ六時に開門、本社には遠藤相生橋署長、土屋保安課長、梶原高等課長、福本水上署長等詰切り、私服、制服の警官隊を十數班に分ち沿道及要所